



死ぬまでに行きたい! 世界の絶景

著者名	詩 歩	発行年	2013年
出版社名	三オブックス	ページ数	155ページ
値段	1,365円	ISBN	978-4861996115
コメント	へえ、世界にはこんなところがあるんだ、とビューティフルな写真にワクワクページをめくれます。でも単なる風景写真集ではありません。この絶景ポイントに行くにはどうしたら？ と旅の経路や予算や、実際行った人の感想やらが添えられている懇切丁寧なつくりです。ただ懂れるだけでなく、えいっ！て行ってみたいくなる。ワクワク度アップなつくりが◎。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
まいせん ☆☆☆	きれいですよね。 きれいな景色の写真みると満足しちゃうの僕だけですかね？			
	写真を中心にばらばら	30P (10分)		2015/02/14 23:32:29
こばやしよしき1 ☆☆☆☆	死ぬまでにいきたいところが増えてしまって、もうありがとう。			
	家	155P (155分)		2015/02/14 16:20:26
おにぎり ☆☆☆☆☆	ざざざとページめくって見てました。 きれいなのですが、旅費まで丁寧に載ってるので少し現実に戻されるといふか…			
	1-155	155P (10分)		2015/02/14 12:17:47
Rosetta ☆☆☆☆	写真だけ見てもうっとりするほど美しい絶景。 この本では絶景写真の後におすすめの旅行プランとそれにかかる費用が掲載されているのですが、安いところだとお金を貯めれば現実的に行けるのだなと妄想が膨らみました。			
	全部	155P (180分)	写真と旅行プラン	2015/02/12 14:15:11
21 ☆☆☆	写真がどれもきれいで行ってみたいくなりました。学生のうちにいけたらいいな			
	全て	155P (20分)		2015/01/26 18:56:30
こばやしよしき2 ☆☆☆☆☆	世界の絶景とか見ちゃうと行きたくなっちゃいます お金がない人は見ないことをおすすめします			
	すべて	155P (155分)		2015/01/22 13:59:51

ちえる ☆☆☆☆	インドア派の自分でも、つい思いを馳せてしまいそうな美しい風景ばかり。オススメの旅のプランや予算など具体的に書かれていたのも良かった。			
	1-155	155P (20分)		2015/01/20 12:32:54
manavin ☆☆☆☆	思ったより住環境に注目していて、行きたい、というよりも、住みたい、と思う場所が多かった。			
	全部	152P (100分)		2015/01/06 23:19:36
り ☆☆☆☆	キレイな景色ばかりで心が癒されました。 船が浮いてみえるほど透き通った海の写真が私の中ではダントツです。 写真だけでなくそのスポットへの行き方まで載っているので、実際に行ってみたくまりました。			
	1-155	155P (20分)		2015/01/06 12:21:18
K ☆☆☆☆	とにかくめっちゃくちゃきれい！！ 実際にこんなところが世界にはあるのかと思うような絶景！ 実際に行ってみてみたい！			
	1-155p	155P (40分)		2015/01/06 11:39:25
きい ☆☆☆☆	とてもきれいな風景をたくさんみることができました。いくつかは実際に行き直接みてみたいとも思いました。まあ難しいですけど…			
	1-155	155P (50分)	124	2014/12/25 22:57:25
青木 ☆☆☆	はー、綺麗だなー… 大岡山近辺だけで生活して、お出かけしていないことがなんだか恥ずかしくなって途中で読むのをやめてしまいました。 私の足は何のためにあるんだ！今すぐ出かせないと！			
	1-83	83P (20分)		2014/12/15 20:37:39
模範囚 ☆☆	立ち読みポイントは、自分がここで撮り鉄したいと思ったので、選んだ。 写真部員的に、なぜ光沢紙でないのか気がになった。海の透き通る青や、星空のきらめきが残念な感じになっている。 また、画質が一定でないのも、なんだかなーと思う。 光沢紙で、画質が高ければ、とても良いと思う。			
	1-155頁	155P (30分)	120,122頁	2014/12/11 17:24:13
tuneyuki ☆☆☆	その場でバラバラーっと読みました。 外国の街は整ってますね。顔も整ってます。 すいません。お願いします。			
	1-155	155P (10分)		2014/12/08 14:16:00
nine ☆☆☆	写真がすごくきれいだった！ 特に空を飛んでいるような船の写真がおすすめ！ いきたいなー！			
	1-155	155P (20分)		2014/12/06 13:42:16
せっちゃん ☆☆☆	不思議な形や綺麗な景色がいっぱいのっています。 やっぱり直接見たいな~と思わせるものも多かったです。 見渡す限り、そんな景色に囲まれたい！！ でも寒そう、怖そう……なんか色々想像しちゃいました。			
	写真部分	64P (15分)	絶景番号1,3,8,19,20,31,40,41,45,56,58,	2014/12/03 12:15:10

ささ ☆☆☆☆	本当にきれいな景色が多くてすべてとは言わなくても死ぬまでにどこかしら行きたいなと思いました。 旅行プランとかも書いてあるのでハンドブックに最適だと思います。			
	1-157	157P (10分)	13,112,113,141	2014/11/26 08:40:16
たかあき ☆☆☆☆	パラパラと読んで、こんな場所があるんだあ！と、旅に出たくなる本。本当に行こうとなったとき、この本では情報が物足りないので、次の旅を計画する、最初の一步にいい。色々な旅が、頭の中で思い描けて、楽しい。			
	全部	155P (20分)		2014/11/22 22:17:26
ゆうき ☆☆☆☆	写真がキレイな上に、旅行のプランも書いてあるので 本当に行きたくなる！			
	1-155ページ	155P (30分)	32, 37	2014/11/18 11:08:44
ゆーみん ☆☆☆☆	そもそも世界には自分の想像してないような景色があることをこの本の写真をみて初めて知りました。自分の生きている世界見ている世界はまだまだ小さく狭いものなんだと思いました。			
	155	155P (50分)	100	2014/11/18 10:51:35
じょじょ ☆☆☆☆	世界にはこんなに絶景があったとは驚きでした でもこれ全部行き終える前に死にそう… とりあえず竹田城行きたいな			
	1-155	155P (45分)	129	2014/11/12 10:47:17
きのこ ☆☆☆☆	綺麗…。行ってみたくまりました。立ち読みポイントであげたページは、個人的にとても気に入った写真です。			
	1-155	155P (20分)	16.20.45.48.85.89.100.132.133.141.148	2014/11/12 10:41:13
わ ☆☆☆☆	日本ではけしてみることのできないような幻想的な絶景を写真で楽しむことができた。 特にまちの景色は日本のまちとは違い、カラフルで整っていてまるで街全体がアートのようにみえて印象に残っている。 いつかこれらの絶景をこの目でみてみたいと思った。			
	1-155ページ	155P (15分)	56-57ページ	2014/10/18 09:01:29



死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編

著者名	詩 歩	発行年	2014年
出版社名	三オブックス	ページ数	169ページ
値段	1,296円	ISBN	978-4861997051
コメント	世界編よりも、行きたいなあ！ の気持ちがもって現実性をともなって湧いてきます。そうやって「憧れ」という引き出しのなかの絵はがきの枚数を増やしてゆくのは、なんだかうれしい気分。96ページ青々島の全景は圧巻です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
刺身 ☆☆☆	お金があれば行きたい 76-77の単色に染まってる感じ好き 写真うつりが良くて、実際行ったらそうでもない場所もありそうと思いました。			
	1-169	169P (20分)	76-77	2015/02/14 17:53:51
こばやしよしき1 ☆☆☆	これは、浪人時代の僕のバイブル。 大学生になったら行こうとモチベーションでした。			
	図書館	169P (169分)		2015/02/14 16:21:26
おにぎり ☆☆☆☆	ザーツと全部目を通しました。 こんな狭い日本に、こんなにたくさんきれいな場所が本当にあるのかよって感じです。まあ、写真の撮り方もあるんでしょけど。			
	1-169	169P (15分)		2015/02/14 11:39:30
21 ☆☆☆	日本ならば生きやすいのでは非春休みを利用して実際に行ってみたいと思います。			
	全て	169P (30分)		2015/01/26 18:57:35
こばやしよしき2 ☆☆☆	読むとほんとに行きたくなるようなとこばかり 日本なら学生のときにできるだけ行きたい			
	すべて	169P (169分)		2015/01/22 14:02:33
ゆうき ☆☆☆	日本にはこんなにキレイな景色がたくさんあるのかと思い、ぜひ1度行ってみたいと思った。			
	全部	169P (30分)		2015/01/21 09:57:05
模範囚 ☆☆☆	立ち読みポイントは、自分がここで撮り鉄したいと思ったので、選んだ。スイスは厳しいが、ここなら行けると思う。			

	世界編同様、写真部員的に、なぜ光沢紙でないのが気になった。 また、画質が一定でないのも、なんだかなーと思う。 光沢紙で、画質が高ければ、とても良いと思う。 ただ、世界編よりは画質が良かったので+1。			
	1-169頁	169P (30分)	128-130頁	2014/12/11 17:29:59

tuneyuki ☆☆☆	バラバラーっとその場で読みました。 日本って他の国と美意識が違うのです。たぶん。 なんでいいかわかんないけどなんかいいってことが多いのです。たぶん。			
	1-169	169P (10分)		2014/12/08 14:13:11

nine ☆☆	世界編を読んだので、ついでに日本編も、、、 外人に日本を案内してと言われた時この本にのっているとご案内したら喜んでもらえそう！			
	1-169	169P (20分)		2014/12/06 13:44:30

せっちゃん ☆☆	神秘的な池や木々のつらなり、水の流れ、氷、色鮮やかな景色 思わずうわあーと声を出してしまいたく写真ばかりです。 何か、日本にこんなところがあるんだ、と嬉しくなりましたね。 全部とは言わないけど、せっかく日本にいるし、いくつか行ってみたいな。			
	8-156の写真	74P (20分)	121,116,101,96,93,89,73,68- 69,64,56-57,52-53,49,36- 37,33,29,12-11,	2014/11/19 13:45:33

ささ ☆☆☆☆	写真がすごくきれいで本当に感動しました。 一応全部国内ということもあって気になったところだけでも時間のある時にぜひともめぐってみたいものです。 写真でなく自分の目で見たらどれだけきれいなんだろうと思います。			
	1-157	157P (25分)	13,29,60,64,68,69,104145,148	2014/11/09 02:47:32

きのこ ☆☆	写真じゃ物足りない！行ってみたい！！全ての景色がアウラだと思った。実際にみたらもっと綺麗なんだろうな…。			
	1-169	169P (20分)	56.60.77.84.88.89.112.116	2014/10/30 00:29:06

わ ☆☆☆	現実存在する景色とは思えないほど壮大で幻想的な60の光景をこの本一つで楽しむことができます。 自分は特に沖縄県の青の洞窟や奥祖谷の二重かずら橋が印象に残っています。 絶景へのアクセス方法や旅行プランの一例も掲載されているため、実際に絶景を見に行きたくなります。 何度みても楽しめるので一週間だけでは物足りず、購入したくなりました。			
	1-155ページ	155P (30分)	148-149ページ	2014/10/14 00:36:43



絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2011年
出版社名	新潮文庫	ページ数	323ページ
値段	540円	ISBN	978-4101325323
コメント	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」(←この2文字をゴシックとして読んでください)であろう世界を、ここまで深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・55-56ページ メイちゃんのお母さん ・164ページ 花売りビジネスモデル ・292-3ページ 売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
まいせん ☆☆☆	自分が、一生知らないようなスラム街の様子などを赤裸々に描いている点は非常に勉強になった。ただ、筆者の考えみたいところが非常に浅い思考という印象を受けたのが非常に残念			
	全部	323P (150分)		2015/02/14 08:51:57
ニコン ☆☆☆☆	目を背けたい事象が多いのですが、			
	全部	343P (172分)	5講	2014/11/11 14:48:06
ちえる ☆☆☆	スラム街での生活を実際に体験した筆者だからこそ書けたであろう貧困層の現実が、全編を通して生々しく描かれている。 目を背けたいような描写も多々あるが、筆者のユーモア溢れる文体に導かれ、ページをめくる手が止まらない。 そして、貧困層を取り巻く格差や搾取の構造は、一概に「排除すべき悪」だとは言えないのかもしれないと考えさせられてしまった一冊だった。			
	1-323	323P (70分)	116-129,298以降	2014/10/31 21:25:39
nagakyuuri ☆☆☆	ジョークを交えながらすごくシリアスな話をする。でもそれぐらいでないとやってられないのかもしれない。世界には貧しい人がいる、日本人からは想像できないような生活をしているかもしれない。しかし彼らは生きるために必要なことをしているのだ。			
	1-323	323P (180分)		2014/10/28 12:52:22
Captain Nemo ☆☆☆	貧困について、テレビで見るよりよっぽどリアルな側面を描いている。 日本では絶対に考えられないようなスラムの生活に驚いた。 また、売春や薬物など、発展途上国が抱える社会問題についても隠す所なく書いているので、日本人も目を背けてはならないと思った。			
	1-323	323P (180分)	最後の章	2014/10/10 10:02:08



(株)貧困大国アメリカ

著者名	堤 未果	発行年	2013年
出版社名	岩波新書	ページ数	278ページ
値段	760円	ISBN	978-4004314301
コメント	夢の国アメリカのダークサイドのお話。 食べる物とか、身の安全とか、子どもの教育とか、ほんとに基本的なところの土台が、じわじわじわじわ大資本の利益優先によって腐食されていく。 ほんとなか？ 偏りすぎの内容を疑いつつも、きちんとデータとルポの裏付けがあるので、いったん聞いておく価値はあるでしょう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
まいせん ☆☆☆	この著者の別の本で、同じ先進国のアメリカではこうも貧困の状況が違うのかと思い知らされた。貧困層			
	全部	278P (120分)		2015/02/14 23:23:05
きい ☆☆☆	アメリカってこんなにひどい国だったんだ一つことが分かる本です。格差や人種差別がある上に治安も悪いことがよく分かったので日本に生まれて良かったと思いました。アメリカの政治の話もでてくるので、学科の中でも面白いと思う人(公共?)がいるのかも。			
	1-278	278P (120分)	168-171	2015/01/19 22:31:42
nagakyuuri ☆☆☆☆	大規模企業が世界を席巻する。それは職かもしれないし、情報インフラかもしれない。どちらにせよ、何か物事を考えるとき見えない巨人が後ろにいるかもしれないことを考えに入れておかなければならない。			
	1-278	278P (180分)		2015/01/14 09:25:29
モウ ☆☆☆	アメリカの現状が分かった。			
	1-278	278P (200分)		2015/01/13 12:40:58
Captain Nemo ☆☆☆☆	上位1%が富の20%を握る、格差大国アメリカ。 あらゆるものが、厳しい価格競争によって寡占化されていき、生産性のよい大企業だけが生き残っていくという現実。 新聞やテレビでは決して見ることのできないアメリカの現実が書かれていたので、非常にためになった。			
	1-278	278P (180分)	34-64ページ	2014/12/04 10:21:43
ニコン ☆☆☆☆	アメリカの行った過度な自由化の問題点が分かる本です。			
	全部	278P (139分)	三章	2014/12/02 13:33:45

刺身 ☆☆☆	数字の表面にばかり気を取られてはいけないなと思いました。			
	167-192	26P (20分)		2014/11/18 13:11:01

カイヤン ☆☆	アメリカの影を描いた本。言いたいことはわかりますが、書き方がセンセーショナルで偏っている感が否めません。セカンドオピニオンなしでこの本を読むのは危険かもしれません。			
	1-64	64P (30分)	20-64	2014/11/01 14:01:22

模範囚 ☆☆☆☆	本のタイトルを見る限り、内容が面白そうだが、タイトルにつられて読むと、中身とタイトルは若干違うような気がする1冊。 しかしながら、とても為になる一冊。 タイトルとしては、資本主義の末路 とか 売買される民主主義 みたいな方が内容と合致している気がする。 社畜の皆さんは、完全に奴隷化される前に読んでみては。			
	1-278頁	278P (300分)	20-64頁、206-277頁	2014/10/13 08:47:56

[TOPへ](#)



米軍と人民解放軍

著者名	布施 哲	発行年	2014年
出版社名	講談社現代新書	ページ数	312ページ
値段	880円	ISBN	978-4062882774
コメント	アメリカと中国が戦争したら、いったいどちらが勝つのだろう？ 兵器の分析から戦術の予測まで、緻密にシミュレーションした第4章「米中衝突2030」が本書のハイライト。浦賀水道に中国の潜水艦が機雷を仕掛けて……迫真の想定、ほんとうにこうなりそうな気がして恐くなります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
まいせん ☆☆☆	米軍と人民解放軍の戦時主務レーションを交えた本 人民解放軍が本当にどの点が驚異なのかを精査している点は非常に評価できる。 戦後体制の脱却を歌っている現政権を鑑みると一読の価値あり？			
	全部	312P (120分)	第四章	2015/02/13 16:20:51
おかび ☆☆☆	ニュースも新聞も見ない、社会情勢に疎い私には内容がなかなか頭に入らず捗りませんでした。 シミュレーションもさりと流し読みしましたがあまり興味は持てませんでした。			
	第1章+他バラ見	60P (25分)		2015/02/12 22:17:18
モウ ☆☆☆☆	米中の関係に対して、興味がわいた。			
	1-312	312P (180分)		2015/02/12 13:32:14
ささ ☆☆☆☆	隣国の戦争は怖いです。			
	1-11	11P (10分)		2015/02/09 16:41:25
こす ☆☆☆	安保条約など、歴史・政治には詳しくないので、1章を読むだけに留まってしまった。 政治を勉強してから再チャレンジしたい。			
	1-32	32P (20分)		2015/02/06 20:24:41
Captain Nemo ☆☆☆☆	米軍、人民解放軍、自衛隊の戦力を細かく分析し、詳しいシミュレーションを行っている。 最近、南シナ海での中国の海洋進出や日本近海での赤サングの密漁などがニュースで取り上げられる中、人民解放軍の規模の大きさに焦りを感じてしまう。 それにしても、アメリカ海軍の強さは世界でも突出しているなと思った。			
	1-312	312P (180分)	123-141	2015/01/03 01:29:50

カイヤン ☆☆☆☆	米中の交戦がもしあれば、地理的に中国に近くしてアメリカの同盟国である我が国が無関係なはずがない。安全保障に関心のある方は手を取ってみてください。 F-22を黒船来航と言っていたのが非常に印象に残ったので、米中の戦闘機に関する議論のところを立ち読みポイントとさせていただきます。			
	214-312	99P (75分)	261-268	2014/11/11 01:49:28

manavin ☆☆☆☆	最近物騒なので手に取ってみました。 著者も最初の方に言っているが、アメリカと中国が戦争に突入する可能性はかなり低いと私も思う。ただ、戦争シミュレーションによって、中国の戦力や技術力を知り、それに基づいた現在そしてこれからの外交政策を想定できるので、世界情勢に興味がある人には有益なものになると思う。 2年前、中国のハッカー集団にHPをハッキングされた日本の某大学に通っている学生にとっては、特に読むべき本なのでは？			
	全部	312P (180分)		2014/11/04 01:40:39

ちえる ☆☆☆	米対中について掘り下げられている本かと思いきや、意外と日本との関係についても詳しく書かれていました。特に「人民解放軍が日本上陸」という見出しには、ドキッとさせられました。シミュレーションするに足る資料が提示されているのもポイントです。			
	214以降	98P (45分)	第4章	2014/10/28 12:42:07

ニコン ☆☆☆☆	安全保障入門書としておすすめです。 衝突の内容はリスク対策のデータから来ているので現実より悲観的だと思います。人民解放軍の潜水艦では運転中に音がほとんどしない自衛隊のそうりゅう型とは違い騒音が大きいので湾内に入るまでに探知できると思われます。また、最終章のシミュレーションではウイグルや内モンゴルの内政問題などのリスクや自衛隊機で現在開発中のステルス機に触れていないなどの不満は残りますが、ミサイルについてなど知るべき話題は多いです。			
	全部	312P (156分)	175-188	2014/10/21 15:04:48

模範四 ☆☆☆	視点と考察は面白いので、4章だけでも読んでみて欲しい。 ただ、作中で著者も書いているように、開戦からの2週間しかシミュレーションしていない。それを物足りなく思う読者はわたし以外にもいそう。			
	1-312頁	312P (360分)	213-310頁	2014/10/12 13:42:46



死刑執行人サンソン

著者名	安達正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましく家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
模範四 ☆☆☆☆	非常に面白かった。歴史書として、資料として、物語として、楽しめた1冊である。文章が躊躇なく、直接的に書かれているのも好印象である。 詳細は、ぜひ読んでみて下さい、としか言えない。自分の目で活字を追うからこそ得られる感動がここにはあると思う。			
	1-253頁	253P (300分)	94-116頁	2015/02/14 18:59:51
六文銭 ☆☆☆	執行時の感情やその場の状況などに若干の興味があつたので新鮮な感じが下。			
	1〜237	237P (180分)		2015/02/13 11:08:35
こす ☆☆☆☆	荒木飛呂彦の絵につられて手にとった。歴史の読み物として楽しめた。処刑人が世襲制だったのに驚いたし、漫画の登場人物の元ネタを知れたのは収穫だった。			
	1-237	237P (100分)		2015/02/06 20:26:07
おにぎり ☆☆☆	死刑執行人の悲しい人生。執行人側からの視点での作品、というのが珍しい。			
	1-46,137-176,234-239	72P (75分)		2015/01/23 13:52:00
ささ ☆☆☆☆	死刑執行人は大変そうだなって思いました。			
	1-46	46P (15分)		2015/01/22 00:28:08
nagakyuuri ☆☆☆☆	信念を持って、知識も持って、良識もあり、努力もして、不運にもめげず、そのように生きる人間であっても差別される。国のことをしっかり考え、当然の行動をしたつもりでも断罪される。苦痛を伴う処刑をなくすという人道的目標を持ち、大量殺戮へとつながる。世の中はままたらないものが多い。誰かが自分にとって理解できない、腹立たしいことをしたとき、相手にも事情があつたのかもしれないということはいかに難しいことなのだろう。			
	1-237	237P (150分)		2015/01/15 13:25:26
カイヤン ☆☆☆☆	死刑執行人の回顧録をもとに、フランス革命前後の死刑を主軸に議論していく本でした。 ギロチンに関心があつたので手に取ってみました。ギロチンに限らずどのパートも興味深い話でいっぱいでした。気			

	になったパートだけ読むという方針でもついでにいけるように書いてありました。私はすべて気になって、飛ばし飛ばし読んでたのに結局間も埋めてしまいました(笑)。 死刑執行人に対する当時の世間の扱いについても書いています。また、日本における斬首刑について書いて、フランスのそれと比較しているページもあります。 題材こそ重いですが、文自体はやさしく読みやすいです。			
	1-241	241P (50分)	86-136	2014/12/17 10:39:47

きい ☆☆☆☆	題材が少し怖いですが、読んでみるとなかなか興味深く面白いと感じました。 読んで損はないと思います。			
	1-237	237P (150分)	終章	2014/12/02 11:49:59

ニコン ☆☆☆☆	フランス革命の暗部がよく見える本です。			
	全部	237P (118分)		2014/12/02 11:44:16

おみた ☆☆☆☆	この本を部室で読んでいたら、なぜか多くの人がこの本を知っていました。何でもジョジョの作者が帯を書いているということで。内容は別に、ジョジョと関係のありそうな感じはしませんでした。 公開処刑や拷問の存在など、現代とはかなりかけ離れている世界です。読んでいて面白いには面白いのですが、拷問の描写など「傷口に煮えた油、燃えた松ヤニ、鉛」みたいな感じで出てくるので、ちょっと怯む場面もあります。そんなワケでお勧め度は5にしておきますが、この文を見て「自分はダメそう」と思ったら、読まない方が良いかも。 立ち読みポイントは、何か「スカッとするコビレ」みたいな感じの文章です。死刑執行人は教養もあり、実に論理的。			
	1-241(最初-最後)	241P (180分)	37-46	2014/11/19 17:14:28

じょじょ ☆☆☆	現代の日本でも死刑を執行する時に人を殺したという責任を和らげるために執行人3人で同時にボタンを押すというのに、1人でその責任を全部で背負って死刑執行人を続け、なおかつルイ16世を尊敬しつつも自分の仕事を全うしたサンソンすごいと思いました。 色んな処刑方法が出てきて、なおかつそれを公開するから昔はえげつないなと思いました。			
	1-237	237P (120分)	151-154	2014/11/04 12:07:31

ペニーワイズ ☆☆☆	この本の主人公は、漫画「スチールボールラン」の登場人物ジャイロ・ツェペリのモデルとなったらしいです。ジョジョが好きなので読み始めました。処刑人の娘と恋に落ちたばかりに、処刑人にならざるを得なくなった一族の物語で、その中でも三代目のサンソンさんがこの本の主人公です。 サンソンさんはフランス革命時、二千人を超える人をギロチンにかけて処刑してきました。国王をはじめとして、名だたる政治家や科学者の処刑も行っており、もしかするとこの時代のフランスで一番多くの有名人と出会った人なのではないでしょうか。 処刑人の苦悩と確固たる信念に触れたい人はぜひ読んでみてください。			
	237	237P (240分)	178-199	2014/10/16 22:02:26



経済は世界史から学べ！

著者名	茂木 誠	発行年	2013年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	239ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478023648
コメント	歴史ネタの豆知識シリーズ。コンパクトな解説とイラストで、分かりやすさはさすが予備校の先生クオリティ。 ただ、話題が幅広いだけに、Amazonの書評でボコボコに叩かれているように、けっこう間違いがあるようです。初心者さんは、バラバラと眺めて興味のとっかかり探しに、物知りさんは、どこが間違いかなあと鵜の目鷹の目あら探しに、という読み方どうぞ。		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
まめ ☆☆☆☆	とても読みやすく、経済用語についての理解が深まること間違いなし！です 世界史を勉強してる人にはまた違った世界史が見えてくることを保証します			
	1-239	239P (180分)		2014/12/03 01:09:16
モウ ☆☆☆☆☆	文章が簡潔で読みやすいです。世界史の基本を理解するのにおすすめ。			
	1-239	239P (180分)		2014/11/18 15:22:28
刺身 ☆☆☆☆	制度、公共を選んだ社工の皆さんにとって世界史は切っても切れない内容だと思います。苦手と思っていた歴史も今では面白く感じるかもしれません！TPPなど最近の問題の話も書いてあります 重要な部分は太字になっていることやイラストでの説明もあるので、読みやすいかも			
	70-145	76P (90分)	86-127	2014/10/26 21:35:15
模範囚 ☆☆☆☆☆	少しの豆知識(?)を除いて、全部知ってる…知らないといけない内容だと思う。 だからこそ、知識の確認用としてオススメしたい。読みやすいので、一休みに是非。 これを読んでから、「(株)貧困大国アメリカ」を読むと、内容がスッと入ってくるのではないと思う。			
	1-239頁	239P (240分)	204-207頁	2014/10/15 19:26:11

[TOP](#)へ



学問の春

著者名	山口 昌男	発行年	2009年
出版社名	平凡社新書	ページ数	301ページ
値段	760円	ISBN	978-4582854794
コメント	山口昌男の本では、これがいちばん読みやすいですよ——まついともみ先生推薦のおことは。文化人類学とかホイジンガとか贈与論とか文学部の大学生なら常識の世界を、ちょっとナナメ読みしておきませんか。ばらばらっとめくって、気になった写真を見つけて、その周辺の解説だけ読んでみる、というつまみぐい手法がオススメ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
きい ☆	難しく途中で挫折しました。文系の人ならこうゆうの楽に読み進められるのかな？理系の僕には無理です。			
	1-96	96P (70分)	なし	2014/12/25 23:03:41
カイヤン ☆☆☆	ホイジンガの名前は倫理で聞いたことはありましたが、なかなか難解です。数学書同様に読むのが格闘技だと思います。本書は『ホモ・ルーデンス』よりはきっと読みやすいのですが、入門書の数学書も読み進めるのに苦労するように、なかなか内容が頭に入りません。わかる人には面白いのかもしれないという感じでした。			
	1-32,134-140	39P (30分)	134-140	2014/12/07 11:36:16
瞬間湯 沸し器 ☆☆	個人的に興味のある部分だけ読みましたが、結局のところ何が言いたかったのかがわかりづらかったです。こういう文化があるよ、程度の話ばかりで、文化人類学に興味のない人間にとって身に付く知識はそういった雑学ぐらいです。			
	88-109,174-193	42P (20分)	88-109,174-193	2014/12/06 14:25:09

[TOPへ](#)



日本列島の20億年

著者名	白尾元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふう to 地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれほれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
六文銭 ☆☆☆	しらない日本もまだまだあるんだと感じた。			
	1~100	100P (15分)	富士山	2015/02/14 21:11:39
びじゅ ☆☆☆	東京にいては想像できないような日本の姿がみえました。			
	1-73	73P (20分)		2015/02/13 23:42:43
おかび ☆☆☆	写真がとにかく美しく、日本にもこんなところがあったのか！と驚きます。 解説文と写真を行ったり来たりするのが面倒になってしまい、解説文はさらっと読み流しました。写真の近くにおいてくれればいいのに…			
	全部	100P (30分)	写真	2015/02/12 21:44:23
背番号 20 ☆☆☆ ☆☆	どの景色も一度は見てみたい絶景で感動した。			
	全部	99P (10分)		2015/02/12 14:19:20
おにぎ り ☆☆☆ ☆	時間をかけて形成された雄大な景色を堪能できます。岩肌や、地形、火山、人工物など、様々です。 気になった写真の説明は最後に載っています。			
	写真と、11,12,19,40,41,43の説明	76P (20分)	11,12番目	2015/02/10 11:34:32
モウ ☆☆☆ ☆	日本にはいい風景が多くあるのだと感じた。			
	1-100	100P (50分)		2015/01/20 11:47:11
い ☆☆☆	絵が多いと思ったら、最後の方で文字があるという罠があった。 しかし、意外と面白かった。こうやってでもしないと地質学や地形学を学ぶ機会がないためよかった。50個ほど地形について簡潔にまとめられているため、そこまで興味ののいい人にもいいかもしれない。			
	全て	101P (60分)		2015/01/13 11:34:00

まめ ☆☆☆ ☆	こんな綺麗な風景が日本にあったなんて…！ 空から撮った写真が多くて、普通に行ける所の写真が少なくて残念です			
	1-70	70P (20分)		2015/01/13 03:05:41
模範四 ☆☆☆ ☆	写真はやはり光沢紙でないと。 写真家の撮りたい気持ちが伝わってくる1冊。 特に、青空が多い事が、その意地を表していると思う。 こういう写真を撮りたいと思う。			
	1-100頁	100P (60分)	22-23頁	2014/12/27 17:55:44
カイヤ ン ☆☆☆ ☆☆	荘厳かつ壮麗なる風景写真が50も載っています。9ページから始まる写真の部分だけでも感動しますが、そのような風景がどのようにしてできたのかの解説が簡潔ながら後半に。目次を見ればどの解説がどの写真のそれなのかがわかるようになっているので、気になったものの解説だけを読むこともできます。地学好きの人には、もしかすると釈迦に説法かもしれませんが、74ページから先の解説コーナーも読んでみると楽しめるでしょう。			
	1-101	101P (10分)	9-71	2014/11/01 16:42:32
こす ☆☆☆ ☆	写真家の作品をじっくり見る機会がこれまでになかったので、こんなにも美しい写真が撮れるのかと感動すると同時に、日本にも普通は想像しがたい場所があるのだなと感心した。解説には興味を持てなかったので読まなかった。			
	1-73ページ	73P (8分)	14-17ページ	2014/10/28 21:05:01
ささ ☆☆☆ ☆	写真が本当にきれいでとても感動しました。 前の方に写真が固まっていてとても圧倒されましたが、その後が解説がなく再び写真に戻りながら読むことになってしまいました。 解説そのものはあまり面白みがなく、その地形のでき方や背景などを述べているもののそこまで興味の湧く内容ではありませんでした。 読むときは写真を眺めてもっと詳しく知りたいと思った写真の説明だけ読めば十分なのではという感想を持ちました。			
	1-101	101P (15分)	9-70	2014/10/03 00:36:09

[TOPへ](#)



千年企業の大逆転

著者名	野村 進	発行年	2014年
出版社名	文藝春秋	ページ数	245ページ
値段	926円	ISBN	978-4163901169
コメント	さすが辣腕ルポライター。よくも、こんなオモシロイ会社ばかり見つけてくるもんです。 シブガキの汁を売っていた江戸の老舗がマンションを壊さずに再生する技術に邁進していたり帽子をつくっていた会社がフェルトつながりで蛍光ペンのペン先で大躍進していたり。 ドヤ顔の定番サクセスストーリーでなく、技術のディテールや苦労した当事者さんたちの本音をしっかり聞き出している耳の良さは、この著者ならではの。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
おみた ☆☆☆☆	老舗企業の話です。あまり身近でなかった老舗の苦労工夫が分かる、面白い本だったと思います。ネット製造やらマンション修繕やら、うまいこと自身の強みを生かして生き残っているんだなあと感じました。各企業の共通点はよく分かりませんでした。 立ち読みポイントは最初の近江屋の話です。この企業が個人的には1番好きです。			
	*	0P (0分)	*	2015/02/14 23:55:27
り ☆☆☆	老舗は”老舗”というブランドがあればやって行けるかと言ったらそういうわけでもなく、時代のニーズについていけているからこそ生き残っているんだと思った。日本の老舗の底力を感じた。			
	1-254	254P (150分)		2015/02/13 01:32:21
じょじょ ☆☆☆☆☆	老舗っていうと京都とかにある料理屋とか旅館を勝手に想像してたんですけど全然違いました。老舗って結構身近なところにあるんですね。 この本を読むまで老舗って伝統がしっかりあってそれをずっと守ってきてるからこそここまで続いてきたものだと思ってました。 けど、実際は伝統を守らなきゃいけないしその上で生き延びるために新しいものを開発する、老舗も大変そうでした。 今までちょっとなめてました、ごめんなさい。			
	1-245	245P (120分)	197-209	2015/01/20 10:59:59
RYO.DX ☆☆☆	老舗と呼ばれるところでも、経営努力というものが必要であるということが伝わってきた。 ペン先の例は、誰しもが一度は使ったことのあるものの例であつたので、とても身近に感じ、どのような経緯で生まれたのかがわかりおすすめてです。			
	1-245	245P (100分)	149-164	2014/12/17 09:16:19
カイヤン ☆☆☆☆☆	我が国の老舗企業の中から5社をフューチャーし、創業から現在に至るまでのサクセスストーリーと苦労話両方を述べた本です。 日本には世界最古の老舗を持ち、ほかにも創業から200年以上続いている企業がなんと3000社以上存在するということには驚かされます。			

	1-245	245P (60分)	216-233	2014/11/19 01:49:50
Captain Nemo ☆☆☆	世界でも有数の老舗大国であるらしい日本。 ビンのキャップやゼラチン、ペンの先など、ほとんど意識しないがほぼ毎日使っている部分が、とても歴史のある老舗企業によって作られているとは知らなかった。 あと、世界最古の企業が日本にあると聞いて驚いた。			
	1-245	245P (245分)	ペン先の技術の章	2014/10/29 13:14:31
nagakyuuri ☆☆☆☆	膠の製法について書いてあったことと、生き残る企業は強みを生かしながら他事業に進出し続けて生き残るということしか覚えていない。			
	1-237	237P (150分)		2014/10/28 13:00:17
ささ ☆☆☆☆	老舗ってすごいなと思うと共に、生き残るには工夫が必要ながよくわかりました。 老舗って昔からその道一筋で一つのことを極めていると思っていましたが、実際はその時代のニーズに合わせて柔軟に対応していることがわかりました。			
	1-237	237P (120分)	91-130	2014/10/22 23:30:56
ちえる ☆☆☆☆☆	世界一の老舗大国、日本。創業から200年以上続いている企業が、日本にはなんと3000社以上もあるそうだ。 本書はそんな老舗企業の中から5社をピックアップし、創業から現在に至るまでの軌跡を紹介している。 どの企業も時代の境目で困難に直面しており、しかし、それでも地道にコツコツと経営に勤しむ社長の姿に胸が熱くなった。 5つの事例の中でも、特にゼラチンの加工企業は我々の生活に最も身近でありイメージもしやすいので、ここだけ読んでも損は無いと思う。			
	1-209	209P (45分)	93-130	2014/10/15 16:27:38

[TOPへ](#)



任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかんにして世界制覇を成し遂げたか？ なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぼんぼん飛び出していきます。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそ。気合いの入ったルポルタージュです。 そして何より、社長の岩田さんが我々が東工大の大先輩だったことに、アツくなれる……はず！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
おみた ☆☆☆				任天堂の変遷の話です。この本は以前「歴史学」を履修していた友人にも勧められました。 私はあまりゲーム機を買わない(PS2しかない)家庭だったので、DSやらDSiやらの違いも分からないレベルですが、特に問題なく読めました。おそらくゲーム機を知っていると開発秘話等ももっと楽しめると思うので、☆の数は参考程度に。		
	*		0P (0分)	*		2015/02/14 23:54:16
六文銭 ☆☆☆				実は任天堂の経営については調べたことがあって、改め岩田社長の力量が見れた。		
		1~288	288P (120分)			2015/02/14 21:16:38
り ☆☆☆				子供から大人までなぜかほしくなってしまうようなゲームができたのは、このようなからくりのおかげなのかと感心させられました。		
		1-87	87P (50分)	54-60		2015/02/13 01:12:41
おにぎり ☆☆☆☆				ゲームはどうしたら遊んでもらえるのか、ゲームは家庭でどうあるべきなのか、を考えて新しい戦略へ踏み込んでゆく任天堂の話。 時間があれば全部読みたかったです。		
		1-77	77P (60分)			2015/01/23 12:21:22
ず ☆☆☆				ゲーム好きとしてお世話になった、今もお世話になっている任天堂。 任天堂が子供だけでなくゲームから離れた大人を対象にした購買戦略をとっていることに驚き興味深いと思った。		
		1-46	46P (30分)			2015/01/12 22:35:19
カイヤン ☆☆☆☆				サークルでゲームを作っている身としてはバイブルにしたい本でした。この本の英語のタイトルの訳は「任天堂の哲学」。ゲーム製作クラスタにとって勉強になることが盛りだくさんです。絶対ゲーム完成させような！		
		1-312	312P (140分)	17-48, 169-174		2015/01/07 13:02:03

わ ☆☆☆	最高のゲーム機を作りたい！という任天堂の人たちが様々な苦難を乗り越えDSやWiiを誕生させたことを知ると、これらのゲーム機の大ヒットは必然的なものだったのだと納得しました。 社長の岩田さんが東工大の卒業生だと知って、親近感が湧きました。			
	1-100ページ	100P (40分)		2014/12/12 12:07:09
瞬間湯沸し器 ☆☆☆☆	任天堂がいかにしてゲーム業界の天辺に登り詰めたのか、数々の苦悩や失敗、戦略などが事細かに記されています。任天堂には私も昔からお世話になっていたので、その実情を知ることができたのは楽しかったです。 64やゲームキューブが任天堂にとっての失敗だったことは驚きでした。私たちの世代だと丁度その時期にゲームにド嵌りしていましたし、ちょっと意外。 驚きを生むためのノウハウを学べました。ゲーム好きの方なら一読してみることを強くお勧めします。			
	全て	296P (90分)	chapter4	2014/12/06 14:36:08
せつちゃん ☆☆☆☆☆	何だか任天堂が好きになって、入りなくなっちゃいましたね。 DSや64など有名な作品の誕生や、昔のカービィやマリオの話、64は実は失敗していた話や、任天堂の社風や任天堂に関わる人の話など、 今まであまり明かされていなかった任天堂内の話が詰まった面白い本です。 これからも頑張ってくださいですね。 ちなみに今の社長も東工大卒ですよ！			
	16-274	258P (240分)	27,31,36-40,54-60,84-92,111,143,167-168,176-177,235-238	2014/11/12 14:00:13
K ☆☆☆	みんなも持っているであろうDSやWiiの誕生した過程の話などが書いてある本。 ターゲットを今までのゲーム好きな人々ではなく、あまりゲームをしない人、まだ開拓されてない市場「ブルーオーシャン」に対して、今までにはなかったようなゲームを考えたりした過程が詳しく書いてある。 自分たちも持っているゲームのことなので、読みやすいです。			
	1-307p	307P (150分)	第2章	2014/10/25 11:56:50
こす ☆☆☆	1-2章には、任天堂がどのようにソニーやマイクロソフトに対抗してきたのかが書かれており、なるほどと思ったことが多かったです。 売上の数値など、事実がつつらと書かれてることが多く、飽きてしまいました。			
	1-2章	73P (40分)	1,2章	2014/10/08 15:44:22
おかび ☆☆☆☆	幼い頃から親しんできたゲーム機の誕生秘話や開発秘話などが読めて楽しめた。 他の大手ゲームハード作成会社と一線を画す任天堂の強さの理由がなんとなくわかったような。			
	1-76, 139-283p	230P (75分)	1-76p(第1, 2章)	2014/10/08 15:19:58



申し訳ない、御社をつぶしたのは私です。

著者名	カレン・フェラン	発行年	2014年
出版社名	大和書房	ページ数	317ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4766421330
コメント	成功ではなく失敗から学ぶことにしよう、とコンセプトは単純。でも、こう失敗したっていう他人がコケた話のほうが、サクセス・ストーリーより聞かれますよね。そこを狙ってきたあたり、さすがコンサルさん。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
瞬間湯沸し器 ☆☆☆	人を動かす時に気を付けたほうがいいことなど、コンサルタントの視点から、普段の生活に役立ちそうな意見が書かれた一冊です。ただいかんせん、コンサルタントという、特別な職業の観点から書かれているので、その筋に理解が深くない人が読むと単語がわからなくて眠くなるかもしれません。			
	1-29,203-239	66P (30分)	chapter6	2015/02/05 21:39:22
RYO.DX ☆☆☆	なかなか読みごたえのある本で、読むのに結構時間がかかってしまった。 しかし、コンサルタントとはどんなものかが批判を交えながら書かれていて個人的には面白かったです。			
	1-317	317P (400分)		2015/01/28 00:05:04
Rosetta ☆☆☆	会社の経営に興味がある方にはおすすめです。 会社のみならず、集団で上手くやっていくためには全員の意見を聞くというごくごく当たり前のことが大事なんだなあと 思いました。 立ち読みポイントのコンサルタントの仕事を身近な例で例えた部分が面白かったです。本文の要約にもなっているの でおすすめ。			
	1章、2章、7章、8章	166P (180分)	287～294	2015/01/20 15:23:34
Captain Nemo ☆☆☆☆	本屋に行くとビジネス書がずらりと並んでいる棚が必ずあるが、今まで買ったことは一度もなかった。 コンサルタントという業種は東工大生にはあまり馴染みがないかもしれないが、この本は従来のコンサル業を徹底的 に批判していて、文章も痛快でおもしろいと思った。 筆者の長年のコンサルタントとしての体験談も詳しく書かれていっているので、読んでみる価値はあると思う。			
	1-317	317P (360分)	140-167	2015/01/13 09:36:34
ニコン ☆☆☆☆	松下やユニクロサムスンなど話題の経営学の本がいつも存在し、すたれていくことに疑問がある人にお勧めの本。 コンサルタントは経営の邪魔であるような言い方は少し大きさに感じるが、面白い部分は多い。			
	全部	317P (158分)		2015/01/06 13:11:36
青木 ☆☆☆☆	木を見て森を見ず、とはよく言ったもので、我々がいきなり「魅力的なデータ」に踊らされるか思い知らされる。真に益を もたらすのは何か、その問いの重要性を教えてくれる一冊。			

	18-29,170-201ページ	44P (60分)	第5章	2014/12/15 20:32:45
--	------------------	-----------	-----	---------------------

nine ☆	とつつきにくくて挫折です。			
	1-10	10P (10分)		2014/12/06 13:46:51

じょじょ ☆☆☆☆	自分の能力は真ん中より上だと思っている人、実は周りの98%もあなたと同じように思っているらしいですよ 嘘だと思うなら読んでみてください			
	1-55,157-163	61P (60分)	157-163	2014/10/28 13:11:26

おみた ☆☆☆☆	自分が経営に不案内なせいかもしれませんが、専門用語が多いためか、読むのにやたら時間がかかってしまいました。 読んでみた結果として、別に単語の意味を理解しなくても話の内容は理解できるので、もっとサラッと読んでも 良い本だったかな、と思います。 ですが、内容はそこそこ面白いです。経営に疎くても、コンサルタントってこんなものなのかーということは分かりま すし、雰囲気は楽しめます。 おすすめポイントは1章の部分です。正直、こと「はじめに」を読めばどんな本なのかはおおよそ分かるような気もし ます。			
	1-317(最初-最後)	317P (480分)	32-63	2014/10/22 12:58:05

nagakyuuri ☆☆☆☆	経営戦略組織論や経営管理論の授業を受講してからこの話を聞くと、理解がより深まります。ことをなすのに近道な どなく、道具はしょせん道具だということです。			
	1-305	305P (180分)	287-294	2014/10/13 10:50:41

ちえる ☆☆☆☆	コンサルタント、フレームワーク、ビジネスプロセスリエンジニアリング・・・なんだか聞こえは魅力的だけど、決して全 能ではないのだということを事例を使って教えてくれた本。 個々の失敗事例はとても興味深いのだが、同時に企業経営理論や組織論についての伝統的な考え方や単語等を学 ぶことが出来る点で、この本はとても有用だと感じた。読み終わる頃には、経営学についての知識をざっと吸収する ことができているだろう。			
	317	317P (60分)	294-303	2014/10/11 16:43:56



ブラックスワンの経営学

著者名	井上 達彦	発行年	2014年
出版社名	日経BP社	ページ数	279ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4822250294
コメント	ねえ、7:10なんだって。男性がもっとも魅力的と感じるウェストとヒップの比率(204ページ)。なんてのは、ほんの細部のお話ですが、ハリウッドから医療まで幅広い事例を具体的に再現しつつ、ラストには学問と実務の着眼点の違いまで教えてくれる、なかなかのお役立ち本です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
模範囚 ☆☆☆	表紙の雰囲気からすると、スラスラと読めるのかと思って読み始めたが、教科書みたいな内容で少し辛かった。読み終えた頃には、知識を得られたかどうかは別として、不思議な達成感があると思う。何度か頁を戻ったりして読み返した事もあったが、なるほどと思える内容だった。知識を吸収できれば、人生の為になりそう。			
	1-279頁	279P (300分)	163-199頁	2015/02/14 18:16:28
きい ☆☆	図とかが多くて分かりやすそうでしたが、それでも私には難しかったです。途中で読むのを放棄しました。読むのには少し根気がいるかもしれません。			
	1-88	88P (60分)	なし	2015/01/13 12:45:17
おみた ☆☆☆	けっこう重たい本です。ページ数は他の本より少ないくらいですが、個別の事例が極めて多く載っており、しっかり読むとしんどいです。最初にタイトルを見たとき「ブラックス・ワン」と認識して、何の本だろうと思いました。「ブラック・スワン(黒い白鳥)」で、常識を崩す極端な事例のことなのですね。正直、最も印象に残っている情報がコレです。立ち読みポイントは5章の医療関連の話です。ここは個人的に面白いと思いましたが、他の人からしたら微妙かも。ここ前の方が挙げている7章を読めば、どんな本かはほぼ分かる気がします。			
	1-275(最初-最後)	275P (360分)	168-204	2014/11/12 19:16:35
カイヤン ☆☆☆	ケーススタディの本。実学志向というか実務志向な内容なので、工学部の人には面白いかもしれません。			
	235-265	31P (20分)	236-239	2014/11/11 02:16:58
瞬間湯沸し器 ☆☆☆	最初のページから具体例ばかりが連なっていて、正直読んでいるとだれると思います。7章に言いたいことが凝縮されているので早く読みたいならそちらを。 この本を読んで、世の中の学問において必要なのは、例外の事例が起こった時、それについて詳しく検証するべきであると思いました。その例外が好ましくないことであれば、原因をある程度追求し、同じ轍を踏まないようにする、など。人間は例外を通して、真に学んでいけると 생각합니다。			
	128-162,236-265	65P (50分)	7章	2014/11/06 01:32:48

RYO.DX
☆☆☆

実際にある様々な事例に対して、どのような方法で因果関係等を説明していくのが示されている。

いろいろな解決方法を知ることが出来るようになる本だと思います。

1-279ページ

279P (140分)

90-102

2014/11/05 12:02:26

たかあき
☆☆☆☆

この本は、アカデミックな論文を紹介しているが、どれも読みやすく分かりやすい。全てケーススタディに基づいた論文だからだ。さらに、それらの論文に関して、私たちが学べることは何かという考察がついていて、理解を手助けてくれる。
そして、社会に出たとき役に立ちそうな内容がたくさんあった。

全部

279P (120分)

2014/10/26 17:27:55

[TOPへ](#)



「社会を変える」を仕事にする

著者名	駒崎弘樹	発行年	2011年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	283ページ
値段	777円	ISBN	978-4480428882
コメント	そんなにゴタイソウな理想や使命感があったわけじゃないんだ。 ベンチャーやってて、ふと行き詰まって、じゃあなんか、金儲けじゃないことやってみつか、みたいな。 ワーキングママたちのために、子供が急病の時に預かってくれるNPO「フローレンス」を立ち上げた駒崎さんの、いきあたりぱったり、でも大まじめでアツい浮き沈み人生。 ポコポココンとキーワードが大きなフォントになってて、そんな工夫も駒崎さんの人生みたいにメリハリがあって◎。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
おにぎり ☆☆☆☆	作者の自伝ですね。 この人は背景描写がとてもうまいですし、なんと言っても読みやすいです。 …なんかコラムのTAコメントみたいになってしまった。			
	1-47	47P (20分)		2015/02/14 11:35:53
ちえる ☆☆	新卒として企業に勤める進路が一般的な現状の中、起業という道を少し意識させられる本でした。 OBの方が東工大OBの社長はとて少ないと嘆いていらっしゃいましたが、この本を読んだ人の中からベンチャー企業の社長が登場したら面白いなと思いました。			
	1-283	283P (70分)		2015/02/14 08:20:42
せつちゃん ☆☆	著者の大学生ごろからの仕事や経験が書かれています。 浮気されてたっぽい話とかもっていますが、基本社会企業で上手くいってくるまでの関係ある話です。 自分が失敗したことは手段であって、目的出はない、やりたいことは何だったのか 好きですね~			
	11-27,135-180,196-251	116P (80分)	25-26,154-161,144-151.後書き	2015/01/21 10:48:25
ず ☆☆☆☆	読みはじめは自伝かなと思ってましたが、挫折のところなどためになる話が多かったです。自分は企業する予定はないけれど。			
	1-283	283P (180分)		2014/11/24 21:39:23
ささ ☆☆☆☆	かなり将来のことを考えさせてくれる内容で、急がずに丁寧に読みました。 全く企業とかそういった考えを持っていなかったのので、1つの可能性として自分の中でもてたことは良かったのかなと思います。 その時々駒崎さんの感情が詳しく表現されていて、現場でどんなことが起きているのかを、現場目線で伝えてくれているのでとても臨場感がありました。 将来のビジョンが明確でない人は1度読んでみるといい本だと思います。			

	1-283	283P (250分)	144-151	2014/10/22 08:55:27
ぎん ☆☆☆☆	働くってなんだろう。筆者、駒崎弘樹さんの生き方、働き方を知った今、この疑問が頭に浮かんでくる。 社会のために、という漠然な目標をどう行動に変えていったか、今の私にも共感出来るポイントが多くあったし、考 えさせられる1冊だった。			
	1-283ページ	283P (120分)	60-81ページ	2014/10/10 08:56:06

[TOP](#)へ



「20円」で世界をつなぐ仕事

著者名	小暮真久	発行年	2009年
出版社名	日本能率協会	ページ数	209ページ
値段	1,470円	ISBN	978-4820717416
コメント	テーブルフOOTー。社員食堂でヘルシーメニューを選ぶと、あなたが支払ったうちの20円がアフリカの子どもの給食になります。東工大生協でも始まりましたね。 先進国の肥満と途上国の飢餓を一举に解決してしまえという欲張りアイデアをビジネスとして成り立たせてしまった小暮さん。そのサクセスの舞台裏トークですが、パートナーシップの築き方やブランディングの手法など、ふつうの仕事に置き換えてもしっかり適用することができます。 その点、フローレンスの駒崎さんよりクールで論理的かな。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
きい ☆☆☆	友人に起業している人がいますが、この本を読んでもいろいろ大変そうなんだということが分かりました。僕は絶対起業なんてしません。			
	1-209	209P (150分)	89-93	2015/02/06 22:15:09
RYO.DX ☆☆☆	TFTという名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らなかったの、ここの紹介コメントを見て読もうと思ったのがきっかけです。			
	ある二つの問題が出てきたとき、どちらを先に解決するのかという視野の狭い考えではなく、どちらも同時に解決してしまおうという柔軟な発想がとてもすごいと思いました。			
ペニーワイズ ☆☆☆	東工大のトイレの張り紙にTFTを見つけ、興味がわいたので借りてきました。TFTというNPOの紹介、それを立ち上げるまでの経緯、TFTの経営手法などが書かれています。			
	中でも印象的だったのが、NPOは一般の企業と変わらず、収益して運用してお金を増やす団体であるという事実です。最終的な利益は社会貢献に役立てることだが、従業員もしっかりと給料をもらっているということを知り、「自分達はボランティアをやっているんだ」という減私奉公的な団体よりも逆に好意的な印象を持ちました。			
きこの ☆☆☆☆	この本には団体を設立する際や経営する際に役立つような情報がいっぱい詰まっているので、企業に興味がある人にはお勧めできます。でも自分はそうでないでTFTの紹介や社会事業の紹介だけ読んであとは飛ばしました。			
	100ページくらい	100P (60分)	60-83	2015/01/06 23:33:18
きこの ☆☆☆☆	人の想いの大切さを改めて知った。確かに小暮さんはすごいし、現代の革命家といっても過言ではないようなことをしていると思う。すごすぎて共感を得られないようなところも正直あった。でもこの本を読んでTFTについて知ったなら、TFTについて少し心に留めておいて欲しい。東工大の食堂にTFTメニューが導入される日も遠くはないのでは...? そんなとき、少しでも思い出してTFTメニューを買ってみたいだろう。あなたのその選択が、発展途上国にいる子ども1人の笑顔を作るのです。			
	1-209	209P (180分)	197-200	2014/12/03 22:07:13
おみた ☆☆	起業家の人の本です。読めばへーという気分にはなるのですが、正直なところ「この人 強すぎだろ」という感想で終わってしまいました。新規ビジネスのようなものにあまり興味がないと、こういうサクセスストーリー(?)は面白くないかも			

	しれません。ですので、お勤め度にはかなりの主観が入っています。 立ち読みポイントは「おわりに」の部分で、ここを最初に読んでから読んでも良いかな、という感じの部分です。内容が「はじめに」と被っていないかも知れませんが、この本の主題ということで。			
	1-212(最初-最後)	212P (150分)	202-212	2014/11/27 17:27:28
カイヤン ☆☆	いわゆる「意識高い系」のベクトルの本です。苦手な方は避けたほうが良いと思います。この本を読んでもあまり起業に興味は抱けませんでした。			
	28-200	173P (45分)	28-58	2014/11/19 01:58:19
ニコソ ☆☆☆☆	NPOで収益を上げるということを発言していることが衝撃的でした。募金から給料を与えることはユニセフなどは当たり前のようにしていますが、あまりおっぴらに発言しないので一般には知られていない事実です。しかしこの人は収益を上げることを宣言しており共感を持ってました。 また、収益を上げることは不景気であっても安定して募金を得られるので合理的であるように感じました。			
	全部	209P (105分)	1章	2014/11/11 12:45:02
じょじょ ☆☆☆☆	自分のやってるいることに常に疑問を持ち、違うなと思ったら転職をも厭わない作者の行動力に感服しました。 自分がやらなきゃいけないんだと思いながら仕事してる人はカッコいいですね			
	1-209	209P (90分)	197-200	2014/11/04 12:10:40
ぎん ☆☆	TFT、名前は聞いたことがあるけれど、日本発のシステムということを初めて知った。東工大でも食堂にTFTメニューが並ぶ日が来るのだろうか。			
	1-219ページ	219P (219分)	60-99ページ	2014/10/13 14:03:58
nagakyuuri ☆☆☆	申し訳ない御社をつぶしたのは私ですの作者と同じ業界にいた人とは思えない程全く違う話。ただしどちらも共通していることは、物事そんなにすっきりしていないということです。			
	1-212	212P (180分)	68-70	2014/10/13 10:52:23

[TOPへ](#)



絶対ブレない「軸」の作り方

著者名	南 壮一郎	発行年	2010年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	234ページ
値段	1,429円	ISBN	978-4478015087
コメント	講演聞いて惚れた！ 2010後期受講生さんの熱いご希望にお応えて。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
きい ☆☆☆	著者のような人生を歩むことはおそろくないけれど、生きていく上で参考になりそうなのでやっぱりならなさそうな話を書いてあって良かったです。著者の行動力の高さには驚かされました。			
	1-234	234P (150分)	93-96	2015/02/09 22:13:30
nine ☆☆☆	筆者の人生に基づいた教訓的なものが書かれていてすらすら読めるけど、同じことの繰り返しで、最後の方は飽きちゃいました笑 でも、読みやすかった			
	1-234	234P (120分)		2014/12/06 13:49:15
ゆうき ☆☆☆ ☆☆	作者の行動力には驚きました！ 「軸」を持つことの大切さを改めて感じさせられました。			
	全部	220P (150分)		2014/12/01 13:04:29
カイヤン ☆☆	勢いのいい書き方の本。いい意味でも悪い意味でも。他の方のコメントにもありますが、成功したからさも必然だったかのように後付けしている感は否めません。一方、何もしなければ何もできないのも事実なので、地の文は話半分に流し読みし、標語をしっかりと読むとよさげな感じです。出版社がダイヤモンド社なのが少し気になりますけれど。			
	67-134	68P (30分)	92,99,107,114,123,129,133	2014/11/23 18:23:24
モウ ☆	筆者の言っていることに共感が持てない。成功した理由を後付けしている感じがした。			
	1-65	65P (30分)		2014/11/18 15:27:46
刺身 ☆☆	なんとなく上手く行き過ぎてフィクションのように感じました。 やりたいことを人生の軸にすると書いていますが、やりたいことすら定まっていな僕にはピンと来ませんでした。人を選びそう。 (共感できないということは、それだけ行動力がないということか)			
	1-64	65P (60分)	第1章	2014/10/28 00:14:06

ぎん ☆☆☆ ☆	筆者の驚くべき行動力。 日頃の自分を反省しながら、先に進もうとする人におすすめの1冊。		
	1-233ページ	233P (120分)	72-75ページ
2014/10/19 16:00:41			

ゆーみん ☆☆☆ ☆☆	著者の行動力にはじめは驚きました。しかし自分だって同じように夢を実現できるチャンスは著者のように作れる、自分の行動、気持ち、考え方次第で本当にチャンスは掴めるんだ、と思いました。		
	全部	220P (180分)	215-220
2014/10/14 12:51:17			

[TOPへ](#)